

令和7年度 社会福祉法人恵康会 事業報告

令和7年度は、社会福祉法人恵康会にとって法人の将来を左右する極めて重要な年となりました。

近年、介護人材不足の深刻化、物価高騰による運営コストの上昇、介護保険制度を取り巻く環境変化など、社会福祉法人の経営環境は大変厳しい状況が続いています。当法人においても、事業規模が小さいことにより、経営の安定化に課題があり、財務基盤の強化や将来に向けた持続可能な経営体制の構築が大きな課題となっていました。

前経営陣と法人の現状と将来を見つめ直し、「地域に必要とされる福祉サービスを将来にわたり継続していくこと」を最優先課題として協議を重ねてまいりました。その結果、現状維持を選択するのではなく、法人存続と発展を見据えた抜本的な経営改革が必要であるとの判断に至りました。

その取り組みの一つとして、社会福祉法人むべの里光栄との連携協議を進めました。これは単なる法人間交流ではなく、連携先の人材、ノウハウ、経営資源を活用しながら、地域福祉を持続的に支えていくための新たな体制づくりを目指すものです。

本年度は、法人運営や財務状況の検証、経営課題の整理、今後の事業展開に向けた協議を進めるとともに、新たな理事・評議員体制への移行準備を行いました。また、経営健全化に向けて、収益構造の改善、人件費の適正化、業務効率化、新規事業の検討など、中長期的な視点に立った改革の方向性を整理しました。

令和8年度は、新たな理事会・評議員会体制のもと、社会福祉連携推進法人 MUBE の参画法人としての連携をさらに深化させながら、経営改革とサービス品質向上、新規事業への着手を図り、持続可能な法人運営の実現に取り組んでまいります。そして、地域に必要とされ続ける法人として、将来にわたり安定した福祉サービスを提供できる体制づくりを進めてまいります。

令和7年度 社会福祉法人 恵康会
特別養護老人ホームひかりの丘 事業報告

(1) 事業所の種類

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

(2) 事業所の目的

利用者が住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、家族・友人・地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望、置かれている環境を踏まえ利用者の尊厳を守るとともに、適切なサービスを提供することを目的とします。

(3) 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針「個性を大事に、自分らしく暮らしていけるように支えます。」

「近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。」

「口腔機能の維持、向上を図り、できる限り健康に暮らせるようにサポートします。」
を基に利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

(4) 事業運営計画

- ・利用者の重度化に伴い、一人ひとりの状態を把握し専門職や嘱託医と連携を図り、異常の早期発見に努めます。
- ・利用者、職員ともに安心して日々を送れるように感染対策に努めます。
- ・職員が相談しやすい環境づくりを行い、職員の定着、介護技術や知識の向上を目指します。

(5) 利用定員

入居定員：3ユニット29名

ふれあい 9名

まごころ 10名

やすらぎ 10名

(6) サービスの内容

入浴・排泄・食事等の介護、機能訓練、相談及び援助、健康管理、家族・地域との交流、その他必要であると思われるサービスの提供をします。

◇ 課題項目と方策とその報告

課題項目	達成のための方策とその報告
①ご利用者一人ひとりの心身の状態を把握し、適切なケアを行う。	(1) 状態変化に気付けるように、日々の観察を行う。 (2) ご家族、専門職、嘱託医と情報共有し、連携を図る。 (3) ミーティングを活用し、ケアの統一を図る。 (報告) 日々のバイタルサイン、食事摂取量、水分摂取量、排泄状況、睡眠状況、表情や会話内容、歩行状態などを継続して観察し、ご利用者ごとに普段の状態を把握し、小さな変化についても職員、専門職、嘱託医と密に情報共有を行った結果、日中の受診や夜間の緊急搬送率が下がり、業務の負担軽減につながりました。特に九州鉄道記念病院の救急隊を活用することによって当施設・ご家族の負担が軽減されました。令和7年度の後半は職員不足により、形式的なミーティングの開催が減少傾向となり、職員間でのケアについての問題点の洗い出しや改善が滞っていた感は否めず、令和8年度の課題としてPDCAフレームワークの実施が急務であると考えます。
②介護技術、知識の向上を図る。	(1) 勉強会やミーティングを利用し、介護技術や知識の向上を図る。 (2) 質問しやすい環境作りを行う。 (報告) 施設内外で開催された勉強会や研修・ミーティングへの参加については、一部の職員に偏りが見られました。特に外部研修については看護職員が主に参加しており、参加回数も限られていたため、全職員の知識・技術向上には十分につながりませんでした。そのため、今後は外部研修へ参加しやすい体制の整備や、オンデマンド研修など多様な学習機会の活用を検討します。 令和7年度は勉強会やミーティングの開催回数が少なく、職員間で積極的に学び合う仕組みを十分に構築することができませんでした。 次年度は年間研修計画に基づき、外部研修の活用を推進するとともに、職員が主体的に参加できる勉強会の仕組みづくりを進め、互いに学び合い支え合う職場風土を醸成し、施設全体のケアの質の向上を目指します。

◇ 行事

4月	お花見 第1回 運営推進会議	10月	避難訓練 第4回 運営推進会議
5月		11月	
6月	あじさい見学 避難訓練 第2回 運営推進会議	12月	クリスマス会 餅つき大会 第5回 運営推進会議
7月		1月	
8月	第3回 運営推進会議	2月	節分 第6回 運営推進会議
9月	敬老祝賀会	3月	ひな祭り 避難訓練

(報告)

コロナ感染も落ち着いたと思った矢先に新型インフルエンザの蔓延により全国的に感染対策に追われた後半でしたが、幸いにして当施設では感染が蔓延すること無く過ごすことができました。全体的に外出する機会が減少し、ユニットで過ごす時間が多くなり、ストレスが蓄積する日々が続いたと感じています。限られた時間の中で車での外出も実施しましたが、すべてのご利用者に均等なサービスをできなかった1年間だと反省しております。定期的な行事に関しては職員の協力と努力のお陰で滞ること無く実施できたと思います。

【令和7年度総括】

令和7年度はご利用者の重度化や感染対策など多くの課題がありましたが、多職種と連携しながら適切なサービス提供に努めることができました。今後もご利用者及びご家族が安心して生活できる施設づくりを継続し、サービスの質の向上に取り組めます。年度末にかけて事業体制の移管により業務内容改善の取り組み、それに伴う職員の退職、特に管理者の退職により業務に支障がきたす状況でしたが職員一丸となり、協力と理解のお陰で業務が滞ること無くサービス提供ができました。その中で多くの課題と問題が山積みとなり次年度に繰り越す課題も幾つか発生しましたが、全てにおいて、前向きに取り組むことで一歩ずつ改善していると感じています。職員不足の中、大きな事故の発生はなかったですが、全体的にケアの質の低下の指摘も有り、実際に現場でのケア技術の低下が顕著に見られました。今後の課題としてケアの技術・知識の向上につながるきっかけ作りを組織的に取り組む必要性を認識しました。令和7年度は、老衰による看取り介護をさせていただいたご利用者が2名いらっしゃいましたが、現場の観察能力のお陰で、急変でお亡くなりになったご利用者はおらず、身体状況は安定した一年間でした。

令和 7 年度 社会福祉法人 恵康会
特別養護老人ホームひかりの丘 事業経過報告

1. 月別入居者推移表 (人)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
男性	9	10	11	7	8	8	7	7	7	7	6	5
女性	18	18	17	18	17	20	21	21	22	20	22	22
合計	27	28	28	25	25	28	28	28	29	27	28	27
目標数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29

2. 月別請求件数／介護給付費請求金額 (件／円)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
請求件数	27	28	28	25	25	28	28	28	29	28	28	27
介護給付費請求金額	8,309,536	8,080,169	7,765,899	7,965,704	7,777,856	7,753,060	9,055,849	8,741,616	9,555,531	8,195,622	7,972,378	8,887,265

3. 月別要介護度別表 (人)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
要介護 1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
要介護 2	5	5	5	3	3	3	2	2	2	2	2	2
要介護 3	8	9	8	8	8	10	12	11	11	10	10	10
要介護 4	8	8	9	7	7	9	8	9	9	9	10	10
要介護 5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	4	4	3
合計	27	28	28	25	25	28	28	28	29	27	28	27

4. 月別居住区表 (人)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
小倉北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
小倉南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
門司区	23	24	25	22	22	24	24	24	25	23	24	23
戸畑区	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
若松区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
八幡東区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	27	28	28	25	25	28	28	28	29	27	28	27

5. 月別平均年齢 (歳)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
男性	85.4	86.7	86.3	82.9	84.5	87.4	86.6	86.6	86.7	86.8	88.5	87.2
女性	92.6	93.1	93.4	92.8	92.5	92.7	91.9	91.9	92.1	91.6	91.1	91.2
男女平均	90.2	90.8	90.6	90.0	90.0	91.2	90.5	90.6	90.8	90.3	90.5	90.4

◇ 附属明細書

令和7年度は、12名の退去と11名の入居がありました。退去の理由としては医療ニーズが高く施設に戻るできないケースが多く見られました。

入居調整については、年々、申込者数の減少が続いている状況です。ショートステイと連携を図ることで入居に結びつけることができました。今後も連携を図っていきたいと思えます。また、空床期間が長くなならないように今後も調整を継続してまいります。

令和7年度 社会福祉法人 恵康会
ショートステイひかりの丘 事業報告

(1) 事業所の種類

短期入所生活介護・予防短期入所生活介護

(2) 事業所の目的

利用者が住み慣れた地域での生活を継続することが出来るよう、家族・友人・地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望、置かれている環境を踏まえ利用者の尊厳を守るとともに、適切なサービスを提供することを目的とします。

(3) 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針「個性を大事に、自分らしく暮らしていけるように支えます。」

「近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。」

「口腔機能の維持、向上を図り、できる限り健康に暮らせるようにサポートします。」
を基に利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

(4) 事業運営計画

- ・新規利用者の獲得に向け居宅介護支援事業所との連携に努めます。
- ・利用者、家族の状況を把握し柔軟な対応、受け入れを行います。
- ・施設内・外の研修の充実を図り、スキルアップを目指します。

(5) 利用定員

利用定員：1ユニット10名

事業実施区域：門司区・小倉北区（但し離島は除く）・小倉南区

(6) サービスの内容

入浴・排泄・食事等の介護、機能訓練、相談及び援助、健康状態の確認、送迎、その他利用時に必要と思われるサービスの提供をします。

◇ 課題項目と方策とその報告

課題項目	達成のための方策とその報告
①居宅介護支援事業所との連携	(1) 綿密に情報交換を行っていく。 (2) 利用の問い合わせにできる限り迅速に対応する。 (3) 緊急時の受け入れも対応できるよう、情報収集や急変時の対応等の確認を行う。 (報告) 居宅介護支援事業所との連携を継続的に実施したことで、新規利用者の獲得と利用者一人ひとりに応じた適切なサービス提供につながりました。担当者不在時でも速やかに対応出来る体制作りが不完全だった為、新規利用者の獲得につながらなかったと考えます。 担当者が一人に偏っていた為、情報収集にも連絡待ち状態で速やかに、対応出来ないこともありました。 今後は、居宅介護支援事業所と信頼関係構築に努め、利用者本位のサービス提供を継続する必要性を感じました。
②介護技術の向上	(1) 「お客様こそ主人公」に合った支援を職員間で統一する。 (2) 多職種と連携し自宅の生活に近い状況で過ごせる環境整備。 (3) 利用者が気持ちよく来所し、気持ちよく退所できる明るく楽しい雰囲気をつくる。 (報告) 利用者や家族からリハビリ・歯科を楽しみにしている方がいる一方で食事の味付けに不満を抱かれることがありました。 食事ショートステイを選ぶ際の重要な要素の一つであるため、食事の変更を検討しています。 施設入所と違い自宅で生活される方がほとんどのため、自宅に戻っても生活が継続できるよう、専門職種による体調管理やリハビリ等、連携して行えたと思います。

◇ 行事

4 月	お花見 第 1 回 運営推進会議	1 0 月	避難訓練 第 4 回 運営推進会議
5 月		1 1 月	
6 月	あじさい見学 避難訓練 第 2 回 運営推進会議	1 2 月	クリスマス会 餅つき大会 第 5 回 運営推進会議
7 月		1 月	
8 月	第 3 回 運営推進会議	2 月	節分 第 6 回 運営推進会議
9 月	敬老祝賀会	3 月	ひな祭り 避難訓練

(報告)

感染症状況も軽減されましたので前年度に比べて行事を行えてきていますので、季節感の行事・楽しい行事の回数を増やしていきたいと考えています。

今後も感染対策を怠らないように、行事を行っていきます。

【令和7年度総括】

ユニット内のレクリエーションは段々と充実してきています。まだまだ、内容・回数に改善の余地がある為に、職員全体で考え色々なことに取り組んでいきます。

毎回同じではなく、退屈しない・楽しい(楽しみ)と思えるようなレクリエーションを毎日実施できるような環境を作っていきます。

令和7年度 社会福祉法人 恵康会
ショートステイひかりの丘 事業経過報告

1. 月別稼働率 (%)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
稼働率	69.00	91.00	77.00	90.00	82.00	77.00	85.00	85.00	78.00	74.00	65.00	60.00
目標数	70	70	70	70	70	70	75	75	75	75	75	75

2. 月別登録者推移表 (人)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
男性	6	11	9	7	7	10	7	9	10	11	9	9
女性	22	27	20	24	23	23	23	21	22	21	17	16
合計	28	38	29	31	30	33	30	30	32	32	26	25

3. 月別請求件数／介護給付費請求金額 (件／円)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
請求件数	28	38	29	31	30	33	30	30	32	32	26	25
介護給付費 請求金額	2,150,497	2,587,852	2,314,388	2,434,795	2,278,070	2,233,582	2,473,624	2,463,516	2,224,690	2,202,778	1,961,925	1,824,743

4. 月別要介護度別表 (人)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	2	5	1	4	2	4	4	4	5	5	7	7
要介護 2	11	11	10	12	9	10	8	11	11	11	8	8
要介護 3	9	14	10	9	9	10	9	6	9	8	5	3
要介護 4	5	6	7	6	8	7	8	7	6	6	5	5
要介護 5	1	2	1	0	2	2	1	2	1	2	1	2
合計	28	38	29	31	30	33	30	30	32	32	26	25

5. 月別居住区表 (人)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
小倉北区	4	7	4	5	5	5	6	5	3	8	6	4
小倉南区	2	4	3	3	3	2	3	2	4	3	2	2
門司区	22	27	22	23	22	26	21	23	24	21	18	19
戸畑区	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計	28	38	29	31	30	33	30	30	32	32	26	25

6. 月別平均年齢 (歳)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
男性	87.95	87.23	87.71	90.36	87.16	87.56	85.75	83.84	86.51	82.85	84.48	83.37
女性	87.91	88.82	89.66	90.32	89.43	89.89	91.82	90.12	90.81	89.77	91.63	90.56
男女平均	87.93	88.03	88.69	90.34	88.30	88.73	88.79	86.98	88.66	86.31	88.06	86.97

◇ 附属明細書

新規利用者受け入れのケースで多くみられたのは、主介護者の年齢によりご自宅での生活がお独りでは困難な方、介護者の休日・休養のための利用が良く見られるようになりました。

また、施設入所待ちの方もおられロングショートにつながるケースもありました。

ショートステイの継続利用者が徐々に増えてきているように感じます。新規利用者の依頼はとても大切なものとなります。そのためになるべく断ることの無いように管理していきます。日々の積み重ねにより、自施設の特別養護老人ホームやグループホームの利用者獲得にもつなげていく必要を感じています。居宅介護支援事業や病院より入居についての相談を受けることも少なくなく、今後も連携を取っていきたいと考えます。

令和7年度 社会福祉法人 恵康会
グループホームひかりの丘 事業報告

(1) 事業所の種類

認知症対応型共同生活介護・予防認知症対応型共同生活介護

(2) 事業所の目的

要支援2、要介護者にあつて認知症の状況にある者について共同生活住居において、家庭的な環境の下で入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的とします。

(3) 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針「個性を大事に、自分らしく暮らしていけるように支えます。」

「近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。」

「口腔機能の維持、向上を図り、できる限り健康に暮らせるようにサポートします。」
を基に利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

(4) 事業運営計画

- ・利用者の高齢化や認知症の多様化に伴い、一人ひとりの状態を把握し、職員間や主治医、専門医、家族との連携を図り、異常の早期発見ができるように努めます。
- ・利用者に笑顔があふれ、楽しく生活できる場になるように努めます。
- ・面会が再開されたことで、今まで以上に家族の要望や希望、意見をいただけるような環境を目指します。

(5) 利用定員

入居定員：2ユニット18名

かんもん 9名

かざし 9名

(6) サービスの内容

・利用者の生活

決められた日常の流れを作らず、自宅で生活しているような、自由でゆったりとした時間を過ごしていただきます。日々の生活の中で一人ひとりの役割づくりを目指し、その役割が自信となって自立に結びつくような生活を支援します。

・家族との交流

利用者の日々の生活の様子を手紙にてお知らせします。また、家族に参加していただく敬老会・クリスマス会等、交流の場を設けます。そして、家族との連絡は密に取り合い、利用者の状態やケアプランについての話し合いの場を設けます。

・食事

栄養士の献立のもと、厨房より運ばれた食事を配膳します。また、利用者と職員と一緒に昼食作りやおやつ作りを行います。

・レクリエーション

天気や利用者の希望にあわせて、レクリエーションを行います。

◇ 課題項目と方策とその報告

課題項目	達成のための方策とその報告
①ご利用者の高齢化 重度化に伴い異常の 早期発見ができる スキルを養う。	(1) 状態の変化に気付けるためきめ細やかな観察力を身につける。 (2) 状態の変化に合わせた適切な介助方法を学習する。 (3) 病気に対する理解力を深める。
	(報告) ・日々の状態変化はケース記録に細かく残し情報共有に努めました。食事形態の変更や介助方法は専門職と話し合う機会を設け、状態に合わせ対応を行ってまいりました。また、病気やけがに対する知識を深め、スキルアップにつながるよう動画を活用した研修を行いました。重度化に伴う変化に対しても、各自意見を出し工夫をしながら支援に取り組めました。
②急な職員不足にも 対応できる対策を取る。	(1) 業務の共有マニュアルを作成する。 (2) 両ユニットのご利用者の状態を把握する。 (3) 職員間で相談、報告しやすく、風通しのよい関係を築く。
	(報告) ・新人職員が入職したり、急な欠員でもスムーズに業務に取り組めるようにマニュアルを作成し、活用しています。マニュアルの作成については、都度職員の意見を聞き、改正を行っています。人材不足で日々の業務に追われ、なかなか職員一人ひとりの話を聞く時間を設けることができませんでした。相談しやすく、また個別に話を聞く機会を設けられるよう、業務の見直しや関係作りに努めたいと思います。

◇ 行事

4 月	お花見 食事作り 第 1 回 運営推進会議	1 0 月	食事作り・お誕生日会 避難訓練 第 4 回 運営推進会議
5 月	食事作り お誕生日会	1 1 月	食事作り
6 月	食事作り・お誕生日会 避難訓練 第 2 回 運営推進会議	1 2 月	食事作り クリスマス会・餅つき大会 第 5 回 運営推進会議
7 月	お誕生日会 食事作り 七夕飾り	1 月	食事作り お誕生日会
8 月	食事作り・お誕生日会 夏祭り 第 3 回 運営推進会議	2 月	食事作り・お誕生日会 節分 第 6 回 運営推進会議
9 月	食事作り 敬老祝賀会	3 月	食事作り・お誕生日会 ひな祭り・ドライブ 避難訓練

(報告)

令和 7 年度はご利用者のリクエストに応じて、外出や外食レクリエーションを実施することができました。直方のチューリップ祭りや農事センターのバラ園等遠出をすることもできました。地域の消防祭りに参加し、防災に関する学びも得ることができました。他事業所の方々と一緒に出かけることで交流も図れました。ユニット内のレクリエーションも食事レクリエーション以外にユニット合同で運動会を行ったり、魚釣りゲームなど体を動かすレクリエーションも積極的に取り入れました。

【令和 7 年度総括】

令和 7 年度は体調不良により状態が悪化し、医療ニーズが高く施設に戻ることができないケースが多かったです。末期がんや腎臓病など進行はゆっくりではありましたが、ご本人の状態に合わせ施設でできるケアをさせていただきました。ご家族、多職種、他ユニット職員と連携し入院前や退院後の対応について、何度も話し合う機会を設けることで急変時や重度化に伴う変化への対応力・知識が身についたのではないかと思います。

10 月ごろより空床が続き、見学や相談はいただくものの入居に至らない状況が続きました。

4 月より運営体制が変わり、法人全体で入居調整に取り組んでいます。満床になっても、次につながるよう継続的な支援ができるよう努めて参ります。

令和7年度 社会福祉法人 恵康会
グループホームひかりの丘 事業経過報告

1. 月別入居者推移表

(人)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
男性	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1
女性	16	17	17	17	17	17	16	15	14	14	15	13
合計	17	18	18	18	18	18	16	15	14	15	16	14
目標数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

2. 月別請求件数／介護給付費請求金額

(件／円)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
請求件数	18	18	18	18	18	18	16	15	14	15	16	14
介護給付費請求金額	4,689,447	5,054,373	5,053,010	5,286,201	5,286,201	4,812,686	4,777,482	3,865,938	3,594,408	3,748,491	3,766,338	4,129,921

3. 月別要介護度別表

(人)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	4	4	4	3	3	3	2	2	1	1	0	0
要介護2	2	2	2	3	3	3	3	3	2	3	3	3
要介護3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6
要介護4	4	4	5	5	5	5	4	3	4	4	5	3
要介護5	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	17	18	18	18	18	18	16	15	14	15	16	14

4. 月別居住区表

(人)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
小倉北区	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2
小倉南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
門司区	15	15	15	15	15	15	13	13	11	12	12	10
戸畑区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
若松区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
八幡東区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡西区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	18	18	18	18	17	16	16	14	15	16	14

5. 月別平均年齢

(歳)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
男性	92.3	92.3	92.4	92.5	92.6	92.7	0.0	0.0	0.0	94.0	94.3	94.3
女性	90.2	90.9	91.2	91.0	91.3	91.4	91.2	90.5	91.4	91.4	91.9	93.2
男女平均	90.3	91.0	91.2	91.3	91.4	91.5	91.2	90.5	91.4	91.6	92.1	93.3

◇ 附属明細書

□令和7年度入退去状況

◆退去

・R7. 5. 11	女性	要介護5	医療機関
・R7. 9. 14	女性	要介護3	介護施設
・R7. 9. 25	男性	要介護4	医療機関
・R7. 10. 31	女性	要介護4	看取り
・R7. 11. 10	女性	要介護2	医療機関
・R8. 1. 21	女性	要介護1	医療機関
・R8. 2. 6	女性	要介護4	医療機関
・R8. 2. 18	女性	要介護4	看取り

◇入居

・R7. 5. 1	女性	要介護4
・R7. 5. 24	女性	要介護2
・R8. 1. 10	男性	要介護2
・R8. 2. 1	女性	要介護3
・R8. 2. 26	女性	要介護4

令和7年度は10月ごろから空床が続きました。体調変化により入院され入院中に状態が悪化し、帰設につなげることができず退去になった方が多かったです。職員自身は今までは空床があっても、あまり関心を示さず入居の問い合わせなどがあっても、見学の提案などスムーズにできない場面がありました。4月から法人の体制が変わり、営業活動や組織改革会議等に参加し、経営面の現状を知ることによって空床に対する考え方が少しずつ変わり始めていると感じています。職員一人ひとりが空床情報を把握し、見学対応を円滑に行えるように努めたいと思います。

令和7年度 社会福祉法人 恵康会
グループホームひかりの道 事業報告

(1) 事業所の種類

認知症対応型共同生活介護・予防認知症対応型共同生活介護

(2) 事業所の目的

要支援2、要介護者にあつて認知症の状況にある者について共同生活住居において、家庭的な環境の下で入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的とします。

(3) 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針「個性を大事に、自分らしく暮らしていけるように支えます。」

「近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。」

「口腔機能の維持、向上を図り、出来る限り健康に暮らせるようにサポートします。」

を基に利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

(4) 事業運営計画

- ・ 認知症の知識を高め、利用者が安心して生活が送れるように支援します。
- ・ 職員同士で情報共有し、ケアの統一を図ります。
- ・ 空室への対策を行い、満床を目標に取り組みます。

(5) 利用定員

入居定員：2ユニット18名

ひまわり 9名

あやめ 9名

(6) サービスの内容

・利用者の生活

自宅で生活しているような、自由でゆったりとした時間を楽しんでもらいます。一人ひとりの役割を担って頂き、その役割が自信となって自立に結び付くような生活になるよう支援していきます。

・家族との交流

毎月、ご利用者の様子を手紙にてお知らせいたします。また、行事にも参加していただき、ふれあいの場を設けていきます。家族との連絡は密に取り合い、利用者の状態やケアプランについての話し合いの場を設けます。

・レクリエーション

散歩、カラオケ、小物作り、園芸など、利用者の趣味や希望にそつたレクリエーションを行います。ドライブや外食、お買物などの外出レクリエーションも定期的に行っていきます。

◇ 課題項目と方策とその報告

課題項目	達成のための方策とその報告
① 認知症の理解を深め一人ひとりに合ったケアの提供	(1) 定期的に認知症の勉強会を開催する。 (2) 日々の状態を把握し、申し送りやユニット会議を通じて職員全員へ共有する。 (3) ご利用者のできること、できないことを考えケアの提供へつなげる。 (報告) 定期的な勉強会は継続して行うことができました。研修後に研修報告書を作成してもらうことで職員の知識の定着や向上を図りました。しかし、職員の知識やモチベーションがやや不安定なところも見られパフォーマンスのばらつきがみられました。 一人ひとりがやりがいを感じながら、サービスの質の向上に努めることができたと感じています。 申し送りやユニット会議においてご利用者の状態変化や支援内容を共有し統一したケアの実践に努めることができました。 ご利用者一人ひとりの生活歴や残存機能を大切に、機能を継続できるように支援を行った結果、笑顔が増え個別性を重視したケアの提供につなげることができました。
② 満床を目指し新規開拓を行う	(1) 運営推進会議で地域の方々や地域包括支援センターの情報を共有する。 (2) 病院や他事業所等の関係を深め新規利用者の拡大を図る。 (3) 地域の掲示板やFAXを活用し、情報を公開する。 (報告) 運営推進会議等を通じて地域包括支援センターや民生委員、町内会長へ空室状況の情報共有を継続しました。その結果、地域の方から2名のご紹介があり、入居へつながりました。 一方で、地域の掲示板への掲載については十分に進めることはできませんでしたが、医療連携室へのFAX送付は実施することができました。まだまだ課題も多く関係構築や成果を得るまでには至りませんが、今後も関係機関との交流や情報共有を行い、連携体制の強化と稼働率の向上と維持に努めてまいります。

◇ 行事

4月	花見 食事レク お誕生会	10月	運動会
5月	母の日 第1回運営推進会議 お誕生会	11月	第4回運営推進会議
6月	消防避難訓練 食事レク	12月	クリスマス会 消防避難訓練（災害）
7月	そうめん流し 第2回運営推進会議	令和8年1月	食事レク 第5回運営推進会議
8月	ユニット盆踊り大会 夜間想定避難訓練	2月	食事レク 節分
9月	敬老会 第3回運営推進会議	3月	手作りたこ焼きレク お誕生日会 第6回運営推進会議

（報告）

職員が自ら企画を立て食事レクリエーションや室内レクリエーションを実施することができました。ご利用者の興味や身体状況に合わせた内容を検討し、楽しみや気分転換の機会を提供することができました。また、レクリエーションを通じてご利用者同士や職員との交流が深まり、笑顔や活気のある生活環境づくりにつながられたように感じています。今後はご利用者の希望やご家族も参加できるレクリエーションも実施していきたいと考えています。

【令和7年度総括】

ご利用者一人ひとりの生活歴や希望を把握し、その方らしい生活が継続できるように日々の申し送りやユニット会議を活用して情報共有を行い、職員間で統一したケアの提供に努めました。

また、ご利用者のできることを大切に、家事活動や日常生活動作への参加を促すことで、役割や生きがいを感じながら安心して生活できる環境づくりに取り組みました。

一方で目標に掲げていた関係機関との連携強化による新規ご利用者の獲得については、さらなる取り組みの必要性が残る結果となりました。今後はできることから施設の改善に組み、親しみやすい施設となるように努めてまいります。

令和7年度 社会福祉法人 恵康会
グループホームひかりの道 事業経過報告

1. 月別入居者推移表

(人)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
男性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2
女性	16	17	17	17	17	17	15	15	14	15	15	15
合計	17	18	18	18	18	18	16	16	15	17	17	17
目標数	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

2. 月別請求件数／介護給付費請求金額

(件／円)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
請求件数	17	18	18	18	18	18	16	16	15	17	17	17
介護給付費 請求金額	4, 587, 314	4, 888, 081	4, 849, 978	5, 087, 940	5, 177, 931	5, 014, 247	4, 632, 043	4, 413, 867	4, 344, 666	4, 597, 809	4, 403, 300	4, 858, 912

3. 月別要介護度別表

(人)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	4	5	4	4	3	3	2	0	0	1	1	1
要介護 2	3	3	3	3	2	2	2	3	2	4	4	4
要介護 3	4	4	4	4	5	4	3	3	3	3	3	3
要介護 4	3	3	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5
要介護 5	3	3	3	3	4	5	5	5	5	4	4	4
合計	17	18	18	18	18	18	16	16	15	17	17	17

4. 月別居住区表

(人)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
小倉北区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小倉南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
門司区	17	18	18	18	18	18	16	16	15	17	17	17
戸畑区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
若松区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡東区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡西区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	17	18	18	18	18	18	16	16	15	17	17	17

5. 月別平均年齢

(歳)

	R7. 4月	R7. 5月	R7. 6月	R7. 7月	R7. 8月	R7. 9月	R7. 10月	R7. 11月	R7. 12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
男性	80. 1	80. 5	80. 6	80. 7	80. 8	80. 8	80. 9	81. 0	81. 8	84. 5	84. 6	84. 7
女性	90. 3	89. 8	90. 1	90. 3	90. 3	90. 4	90. 7	90. 9	91. 4	90. 5	90. 5	89. 9
男女平均	89. 8	89. 4	89. 6	89. 7	89. 8	89. 9	90. 1	90. 3	90. 7	89. 8	89. 8	89. 4

◇ 附属明細書

令和7年度は新規利用者の受け入れを行うことができた一方で、退居者も発生したため満床維持には至りませんでした。

退居理由としては、医療的ニーズの増加に加え、利用料金に対する経済的負担から介護老人保健施設等へ転所されるケースが多く見られました。

また、見学や入居相談時においても、年金収入のみでは利用料金の負担が難しいという理由から入居に至らないケースもありました。

このような状況を踏まえ、早期からの相談対応や料金説明を丁寧に行い、ご利用者・ご家族の状況に応じた適切な提案ができる体制づくりに努めます。また、当事業所の特色やサービス内容について積極的に情報発信を行い、選ばれる事業所として安定した稼働率の維持・向上につなげていけるように努めます。

退居

入所

R7. 9. 29	要介護3	介護老人福祉施設への入所	→	R8. 1. 12	要介護3
R7. 9. 30	要介護3	介護老人福祉施設への入所	→	R8. 1. 12	要介護3
R7. 11. 18	要介護1	介護老人福祉施設への入所	→	R8. 1. 13	要介護3
R7. 12. 26	要介護5	その他医療機関入院			